

# 『社会科中学生の歴史』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	本書の特色 ※ (青字) は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
教育基本法との対応	教育基本法との対応が十分にはかかれているか。	○教育基本法第1条の目標および教育基本法第2条第1～5号に示された内容について、 <b>社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができるように構成されている。</b>	おもに p.51-52
学習指導要領との対応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	○単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」「この教科書の学習のしかた」では、 <b>単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置づけや見通しがつかみやすいように工夫されている。</b> (巻頭2-5) ○時代の特色が一望できる「タイムトラベル」、章・節ごとの単元を貫く問い、歴史の流れがわかる本文、単元の最後の「節の問いを振り返ろう」「章の学習を振り返ろう」のように、 <b>単元が構造化され、見通し・振り返りに基づいた単元の学習を確実に実践できるように工夫されている。</b> ○学習指導要領で重視されている「歴史的な見方・考え方」を整理したページを設けて、歴史的分野の全体を通して鍛えていく見方・考え方が、わかりやすく説明されている。「タイムトラベル」や「章の学習を振り返ろう」では作業課題などで「歴史的な見方・考え方」を働かせることを促し、社会的事象を多面的・多角的に考える力が身に付けられる。(p.12,24-25,56-57など) ○知識が確実に習得できるよう丁寧な本文とし、本文の理解を促す資料を適宜設置している。また、基礎的な技能が身に付く「技能をみがく」コーナーが随所に盛り込まれ、 <b>公民としての資質・能力の基礎を育成できるよう配慮されている。</b> ○ <b>世界史の内容を増やして</b> おり、世界と日本とのつながりがよりわかりやすくなるように整理・工夫されている。世界の古代文明の記述や世界地図が充実し、日本への影響や関連がわかるように工夫されている。	おもに 特色1 p.5-14 特色2 p.15-24 特色3 p.25-32 特色4 p.33-36 特色5 p.37-40
	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時は適切か、系統性が考慮されているか。	○1見開き1単位時間(以下、時間)の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。 ○授業数は、第1部に13時間、第2部第1章に19時間、第2章に15時間、第3章に21時間、第4章に26時間、第5章に19時間、第6章に13時間、教科書最後の「多面的・多角的に構想する 未来に向けて」に1時間が配当され、標準授業時間数135時間のうち126時間を活用する配当で、適切である。予備時間は8時間設けられている。	おもに 特色3 p.25-32 特色4 p.33-36

内容の配列・分量・程度	<p><b>内容の程度・範囲および文章</b></p> <p>は、生徒の発達段階から見て適切か。</p>	<p>○本文は、<b>具体的に例示したり、歴史的事象の背景や因果関係までわかる</b>ようにしたりするなど、丁寧でわかりやすくなっている。また、平易な表現にするなど、中学生の発達段階が考慮されている。</p> <p>○本文、図版タイトル、全ての人名、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付されている。また、固有名詞・歴史用語には適宜ふりがなが付されており、用語や熟語が正しく読めるように配慮されている。</p> <p>○文体は「です、ます」調の語り口で、生徒に親しみやすくなっている。</p> <p>○中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。</p>	<p>おもに 特色 2 p.15-24 特色 5 p.37-40</p>
	<p><b>学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。</b></p>	<p>○各見開きは、本文、資料、側注などが<b>統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている</b>。学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。</p> <p>○本文と資料の関連する箇所には、<b>図・写真や他ページへの適切な参照指示</b>が記載され、学習効果を高めるとともに、効率よく資料の活用ができるように工夫されている。</p> <p>○各見開きでは、<b>学習している時代がわかるように、時代ごとに色が統一</b>されている。紙面右端の時代を表す「<b>年表インデックス</b>」は、見返しに設置した「日本の歴史」および「世界の歴史」年表と対応しており、<b>時系列を確認しながら学習</b>できるように工夫されている。</p> <p>○用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する時間が省け、生徒が集中力を切らさないで授業を進められる。</p>	<p>おもに 特色 3 p.25-32 特色 5 p.37-40</p>
	<p><b>課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。</b></p>	<p>○単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第○節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、<b>単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる</b>構成になっている。</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」では、「<b>章の問い</b>」に対して「<b>歴史的な見方・考え方</b>」を働かせて考えるステップなどにより、<b>課題解決的な学習ができる工夫がなされている</b>。(p.146-147など)</p>	<p>おもに 特色 3 p.25-32</p>
	<p><b>「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。</b></p>	<p>○「タイムトラベル」では、大きなイラストや重要な場面を探し出す「<b>次の場面を探してみよう!</b>」などの工夫で、<b>生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動にも使えるよう工夫されている</b>。</p> <p>○単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第○節の節を振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、<b>単元のまとまりのなかで「深い学び」が実現できる</b>構成になっている。</p> <p>○本文のページの導入資料では、写真や資料に対して中学生に親しみやすいキャラクターが吹き出しで疑問を投げかけており、導入資料を用いて対話的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○本文のページは左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載する学習しやすいレイアウトで統一されている。また、相互にリンクが張られ、資料が活用しやすく工夫されている。</p> <p>○「タイムトラベル」は単元のはじめで<b>時代の特色を見通し、本文と関連付けて活用</b>し、「章の学習を振り返ろう」のイラストの眺め直しで<b>時代の振り返りができる</b>よう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「<b>多面的・多角的に考えてみよう</b>」では、資料をもとに生徒が<b>主体的に考え、対話的に活動する</b>ことを通じて<b>深い学びにつなげる</b>構成となっている。</p>	<p>おもに 特色 1 p.5-14 特色 3 p.25-32 特色 5 p.37-40</p>

		<p>写し、対話的に活動することを通じて深い学びにつながる構成となっている。</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに、「<b>歴史的な見方・考え方</b>」を働かせながら主体的・対話的に「章の問い」を振り返ることで、「深い学び」につながられるよう配慮されている。</p> <p>○第1部第2節「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では調査テーマの決め方、調査手順のまとめ方、発表のしかたなどが具体的に示されており、生徒が主体的に学習をすすめられるよう配慮されている。(p.6-11)</p>	
内容の扱い／学習活動	基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。	<p>○見開き1時間の紙面が、興味・関心を引く「導入」→学習を見通せる「学習課題」→丁寧にわかりやすい「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるようになっている。</p> <p>○節の冒頭にある「タイムトラベル」のイラストや資料から学習内容を見通し、「章の学習を振り返ろう」で学習内容を振り返る学習活動ができる。</p> <p>○本文は、全編にわたり歴史的事象の背景や影響がわかるように因果関係をふまえた上で、具体例を挙げながらわかりやすく記述されている。また、文章で書かれた内容を補足し理解を促進する図解や写真が多数掲載されている。</p> <p>○「技能をみがく」コーナーが12か所設けられ、「<b>歴史的な見方・考え方</b>」を働かせる上で必要な基礎的な技能が習得できるよう配慮されている。(p.5,7,8,9,10,37,38など)</p> <p>○第1部第2節「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能が系統だてて具体的に示されており、技能を習得しやすいように配慮されている。(p.6-11)</p>	おもに 特色1 p.5-14 特色3 p.25-32 特色5 p.37-40
	深い学びを実現させるための「思考力・判断力・表現力等」を育成するよう配慮がなされているか。	<p>○「タイムトラベル」は、異なる時代どうしを比較して考察できるようになっており、<b>思考力を養える</b>ように配慮されている。</p> <p>○本文のページの見開き右下には、「確認しよう」と「説明しよう」が設置されている。「確認しよう」には本時の学習での習得事項を確認する作業課題が、「説明しよう」には本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられている。これにより<b>言語活動を毎時間くり返し行い、思考力・判断力・表現力を育成</b>できるよう配慮されている。</p> <p>○各章末には「章の学習を振り返ろう」が配置され、<b>章の学習で得た知識を生かして、「歴史的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題</b>が設けられている。</p> <p>○学習内容と関連する歴史的事象を題材にした「多面的・多角的に考えてみよう」が3テーマ設けられ、一つのテーマについて資料をもとに生徒が自分なりに思考・判断し、表現できるように配慮されている。</p>	おもに 特色1 p.5-14 特色3 p.25-32
	「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる社会的な見方や考え方を働かせるための配慮がなされているか。	<p>○学習指導要領で重視されている「歴史的な見方・考え方」を整理したページを設けて、歴史的分野の全体を通して働かせる見方・考え方が、わかりやすく説明されている。</p> <p>○「タイムトラベル」では「前の時代と比べてみよう」が設けられ、「<b>歴史的な見方・考え方</b>」を働かせながら時代の特徴を考えることができる。(p.122-123など)</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」では、異なる二つの時代の「タイムトラベル」の眺め直しや話し合いを促す工夫で、「<b>歴史的な見方・考え方</b>」を働かせられるように工夫されている。(p.146-147など)</p> <p>○巻末ページ右端には教科書で学んだ内容をまとめた世界の歴史年表が設置され、巻頭ページや各ページ右端の日本の歴史年表と比べることで「歴史的な見方・考え方」を働かせられるように工夫されている。</p>	おもに 特色1 p.5-14 特色3 p.25-32 特色5 p.37-40

	<p>生徒の興味・関心を喚起させ、「主体的に学習に取り組む態度」を育成できるような配慮がなされているか。</p>	<p>○幅広の判型(AB判)で、写真や地図、年表などが大きく見やすく提示され、歴史への興味・関心が喚起されるように工夫している。</p> <p>○時代の冒頭に、時代の様子が生き生きと描かれたイラスト「タイムトラベル」が設けられ、時代への興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっている。「次の場面を探してみよう」で重要な歴史事象を読み取り、本文の学習課題と関連付けられるなど、学習に意欲的に取り組めるように配慮されている。また「さくいんグリッド」などの工夫がなされ、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。</p> <p>○生徒にとって親しみやすい中学生のキャラクターが各ページに配置され、発問や気付き、学習の手がかりや示唆などを提示することで、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。</p> <p>○各見開きの左上に、1時間ごとの導入となる資料が設けられている。ワイドな写真から時代のイメージをつかんだり、驚きや疑問をもったりして、学習への意欲を引き出せるようになっている。</p>	<p>おもに 特色1 p.5-14 特色5 p.37-40</p>
	<p>小学校・高等学校との接続や関連に配慮がなされているか。</p>	<p>○巻頭ページの右端には小学校で学習するおもな出来事を中心に構成した日本の歴史年表が設置され、各見開きの紙面の右端につけたインデックスと関連させることで、中学校での歴史学習にスムーズに入れるよう工夫されている。</p> <p>○第1部「歴史のとらえ方と調べ方」には、小学校の学習指導要領で示されたおもな人物や出来事を振り返るイラストや年表が設けてあり、中学校での歴史学習に向けた橋渡しとなるように配慮されている。</p> <p>○各時代の冒頭の「タイムトラベル」ページ右上に「小学校で学んだ主な出来事」の年表が設置され、小学校で学んだ人物と出来事を確認することで、これから学習する内容にスムーズに入れるように工夫されている。</p> <p>○本文のページ下段には「小学校・地理・公民との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容を確認できるよう、関連用語が提示されている。(p.132など)</p> <p>○小学校の学習指導要領で示された42人の人物が全員取り上げられている。</p>	<p>おもに 特色1 p.5-14 特色2 p.15-24 特色5 p.37-40</p>
	<p>他分野との接続や関連への配慮がなされているか。</p>	<p>○本文ページ下段には「小学校・地理・公民との関連」コーナーが設けられ、地理的分野・公民的分野との接続ができるよう、関連用語が提示されている。(p.132など)</p> <p>○積極的に地図が取り入れられており、地理的分野との接続が考慮されている。</p> <p>○「環境」「交流」「人権」「平和」といった、現在および将来の社会が直面する課題の歴史的経緯を取り上げたコラム「未来に向けて」が43テーマ設置され、公民的分野への接続が考慮されている。</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24 特色5 p.37-40</p>
<p>我が国の伝統・文化、宗教に対する理解を深められるような配慮がなされているか。</p>		<p>○文化史のページでは、絵画・建築物・仏像などの資料を大きく掲載したり、当時の文化や文化を生み出した社会的背景について丁寧に記述したりするなどの工夫を行い、日本の伝統・文化、宗教に対する理解を深められるように配慮されている。</p> <p>○琉球とアイヌの人々についての記述が充実し、多文化が尊重される社会を意識できるように配慮されている。(p.29,78-79,118-119,120-121など)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24</p>
<p>我が国の領土・領域を正しく理解できるような配慮がなされているか。</p>		<p>○特設ページ「歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸国」において、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯がわかるようにまとめられている。(p.266-267)</p>	<p>おもに p.41-42</p>

動	<p><b>補充的な学習や発展的な学習</b>に対する工夫・配慮がなされているか。</p>	<p>○具体例を交えた本文やそれを補足する図解などによって、<b>基礎的・基本的な学習内容が定着し、補充的な学習を行いやすくなっている。</b></p> <p>○3か所に設置された「多面的・多角的に考えてみよう」では、協働的な学びが実践できる工夫により、学習を一層深められるようになっている。</p> <p>○第1部第2節「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、協働学習形態の提示が行われている。</p>	<p>おもに 特色3 p.25-32 特色5 p.37-40</p>
	<p>生徒が家庭でも<b>主体的に自学自習</b>できるような配慮がなされているか。</p>	<p>○教科書の冒頭には「この教科書の学習のしかた」「タイムトラベルの学習のしかた」が掲載され、<b>自学自習がしやすい</b>よう配慮されている。(巻頭4-巻頭5,p.13)</p> <p>○二次元コードで学習内容に関連する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、生徒が自学自習しやすいように工夫されている。(巻頭3など計26か所)</p>	<p>おもに p.43-44</p>
今日の課題への対応	<p><b>環境教育</b>に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○コラム「未来に向けて 環境」が10か所設置され、資源の保護や環境保全に取り組んだ人々の姿が紹介されている。(p.51「自然を畏れ敬った古代の人々」、p.143「江戸のごみを利用した農業」など)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24</p>
	<p><b>防災</b>に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○コラム「未来に向けて 環境」が10か所設置され、自然災害に立ち向かった人々の姿が紹介されている。(p.87「自然を生かした信玄堤」、p.283「現代社会の見直しを迫った東日本大震災」など)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24</p>
	<p><b>人権・平和教育</b>の推進のために、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○コラム「未来に向けて 人権」が17か所設置され、人権に関する諸課題の経緯について紹介されている。(p.83「中世の老人と子ども、女性」、p.184「自由は土佐の山間より」など)</p> <p>○コラム「未来に向けて 平和」が8か所設置され、人々が平和に向けてどのように取り組んできたのかが紹介されている。(p.235「芸術に込めた反戦の意志」、p.245「ドイツのユダヤ人迫害に抵抗した日本人」)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24</p>
	<p><b>グローバル化</b>に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○第2部第6章第3節「これからの日本と世界」では、グローバル化が進む世界と日本について、グローバル化の歴史的経緯や課題を学習できるような本文記述がなされている。(p.278-283)</p>	<p>おもに 特色4 p.33-36</p>
	<p><b>少子高齢化</b>に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○第2部第6章第2節「4日本の社会と国際関係の変化」では、少子高齢化の社会的背景や影響について、現代社会に続く課題として考えられるように記述されている。(p.273)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24</p>
	<p><b>情報化</b>に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○第2部第6章第3節「3国際社会におけるこれからの日本」では、社会の新たな潮流について、情報通信技術の発展や人工知能(AI)の発達が社会に与える影響や今後の課題を考えられるように記述されている。(p.282)</p>	

	<p><b>「持続可能な開発目標」(SDGs)に関して、どのような配慮がなされているか。</b></p>	<p>○先人たちの取り組みを未来につなげるためのコラム「未来に向けて」が「環境」「交流」「人権」「平和」の観点で43テーマ設置され、「持続可能な開発目標」(SDGs)に関連する項目にはSDGsマークが付されている。(p.127「森林伐採と植林」など)</p> <p>○SDGsについて、社会的な課題として主体的・対話的に考えられる工夫がなされている。(p.286)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-24</p>
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p><b>統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連がはかられるなど学習効果を高めるための工夫がなされているか。</b></p>	<p>○本文の記述を補足する写真や図表などが大判で豊富に掲載され、学習を深められるようになっている。</p> <p>○学習内容に関連する事項についての参照ページ、参照資料の図番号、「タイムトラベル」への参照記号などのリンク機能が設けられ、資料の活用を促している。</p> <p>○資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設置され、資料の活用を促している。</p> <p>○さまざまな時代や場面で日本の歴史に足跡を残した人物を紹介する「人物コラム」のコーナーが側注欄に49名分設けられ、歴史により親しみが持てるように工夫されている。また、巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」が設けられ、資料の活用を促している。(p.288-289)</p> <p>○歴史的分野の学習に必要な用語を解説した「解説」のコーナーが側注欄に54項目設けられている。文章だけでは理解しづらい用語には、図解や写真が添えられて視覚的に理解が深まるように工夫されている。(p.148「近代の政治体制」など)</p>	<p>おもに 特色1 p.5-14 特色2 p.15-24 特色5 p.37-40</p>
	<p><b>特別支援教育やインクルーシブ教育に対して適切な配慮がなされているか。</b></p>	<p>○本文や図版などでは、文字をはっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UDフォント)が使用され、誤読を防ぐように配慮されている。</p> <p>○見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料には、色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様が使用され、カラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。</p> <p>○色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、色以外での区別ができるように配慮されている。</p> <p>○図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすくなっている。</p> <p>○各見開きのデザインは、生徒が学習しやすいように本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで整理されている。</p> <p>○見開きごとに学習内容の時期を着色した年表が右端に設置され、一目で学習している時代がわかるように配慮されている。</p> <p>○反射を抑えた紙が用いられ、読み取りやすくなるように配慮されている。</p>	<p>おもに 特色5 p.37-40 および p.45-46</p>
<p>印 刷 ・ 装 丁 等</p>	<p><b>紙質や印刷の鮮明さなど、生徒の利便性に配慮がなされているか。</b></p>	<p>○写真の印刷は鮮明で見やすくなっている。</p> <p>○地図などの図版は、記号や注記文字が明瞭で読み取りやすいように配慮されている。</p> <p>○紙は、反射を抑えつつ、鮮明に発色して裏写りせず、かつ文字も書き込める軽量なものが使用されている。</p> <p>○生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、軽い紙が用いられている(現行教科書比単位面積あたり約5%の軽量化)。</p>	<p>おもに p.45-46</p>
	<p><b>造本は3年間の使用に耐えられるように配慮がなされているか。</b></p>	<p>○表紙の材料は引っ張り、折りなどに強い用紙が使用され、さらに、表面の摩擦・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており、長期間の使用に耐えられる。</p> <p>○製本は、針金綴じよりも強度があり、かつ重量の軽いPUR製本が用いられている。これにより本が大きく開くため、掲載情報量が増えるとともに、机の上に開いたまま置くことができる。</p>	<p>おもに p.45-46</p>

	<p>用紙・インキ等は、<b>環境への配慮</b>がなされているか。</p>	<p>○古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには国産米の米ぬかから作られるライスインキが使用され、<b>環境保全と地産地消への配慮がなされている</b>。</p> <p>○針金を使わないPUR製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなっている。</p>	<p>おもに p.45-46</p>
<p>サ 体 ポ 制 ト</p>	<p><b>デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制</b>はどのようなになっているか。</p>	<p>○学習者用デジタル教科書，学習者用デジタル教材，指導者用デジタル教科書（教材），教師用指導書，拡大教科書が令和3年4月までに発刊される予定である。</p>	<p>おもに p.47-50</p>